NERIMA DX VISION

練馬区DX推進方針

練馬区 | 令和８年８月

この方針の位置づけ

– DX推進の羅針盤であり、職員の行動指針

DX推進の羅針盤

区が今後、DXによる様々な改革を行う際の基本理念や推進体制を示し、進むべき方向を導く羅針盤としての役割を果たす。

職員一人ひとりの行動指針

職員が改革に対し常に前向きな姿勢で執務に臨むことを、一人ひとりに強力に意識づけるための行動指針とする。

基本理念 — 練馬区にとってのDXとは

区民サービスの向上と効率的な区政運営の実現

ー歩みを止めず、

デジタルを駆使した変革に挑戦し続けるー

取組の５つの柱 — 改革の実現に向けた具体的なアクション

01 区民サービスを変える

オンライン化等にとどまらず、手続きやサービスそのものを見直す。シンプルかつ誰もが分かりやすく使いやすいサービスをつくる。

02 内部業務を変える

BPR（業務見直し）に先端技術の活用を掛け合わせることで、業務効率を最大化し、効率的な区政運営を実現する。

03 ＡＩの導入をあらゆる分野で検討し、積極的に活用していく

区民向けサービス・内部業務を問わずあらゆる分野において、有効性を検証したうえでＡＩの活用を積極的に検討する。

04 データに基づき行政を進める（EBPM）

庁内の様々なデータを集め・繋ぎ、ニーズ把握から施策立案、効果検証まで、データを根拠に進める仕組みをつくる。

05 DXを進めるための人材を育てる

職員が果たすべき役割に応じた育成モデルを示し、実効性のあるプランに基づき人材を生み出し/育て/増やしていく。

取組の姿勢

— 目指すものを実現するための、一人ひとりの行動指針

01　区民の視点で考える

単にデジタル化するのではなく、利用者目線で考え、シンプルで使いやすいサービスをつくります。

02　デジタルをベースに考える

区民サービス・内部業務のどちらもデジタルで完結することを前提に考え、設計します。

03　安全・安心な体制を築く

情報セキュリティの確保と個人情報の保護に万全を尽くします。

04　業務効率の意識を徹底する

全ての職員が、本方針を理解し業務効率の意識を徹底した上で区民サービスの向上に取り組みます。

05　ＡＩを賢く、責任を持って使う

ＡＩ特有のリスクを正しく認識し、個人情報・機密情報の取扱いルールを徹底します。

06　全ての人にサービスを届ける

デジタルが苦手な人も取り残されることが無いよう配慮します。

推進体制 — 部門間の連携と、トップマネジメント

